

■子どもの行動の例 | おもちゃは、出して遊べるが片付けは、できない

例) おもちゃで遊ぶ場面 ■うちの子のできているところを探しましょう！

	できる	時々できる	できない
遊びたいおもちゃをだす	●		
自分で出したおもちゃで楽しく遊べる	●		
自分で出せないおもちゃを出してほしいと言う	●		
手伝うと片付ける		●	
ブロックを片付ける			●
お絵かきセットを片付ける			●
電車を片付ける			●

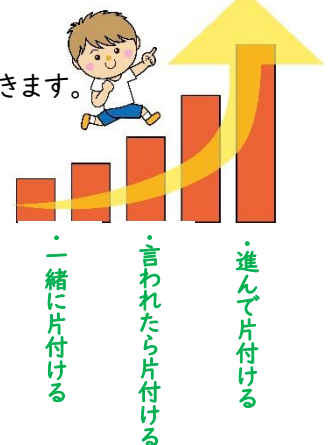
子どもが「やりたい」と、興味を示す行動は学ぶ準備ができてることが多く、親は子どもに教えやすいかと思います。しかし、子どもにも苦手なことや「やりたくない」と思う行動があります。そのような時には、取り組む行動に興味ができるきっかけづくりを考えてみませんか。裏面では工夫できるアイデアを紹介していますので、気になる取り組みがあれば試してください。

子育てヒント

片付けの練習をしましょう

「出したものは片付ける、元の場所に戻す」という生活習慣を子どもが身につけられるように取り組んでみませんか。  
 子どもの年齢に関係なく、教えることができ、子ども自身が身につけることができます。  
 ポイントは親が片付けているところを見せて学ぶ、子どもが出した物を親が声掛けをして一緒に片付ける等、片付ける機会をつくることにより習慣づけることが期待できるでしょう。

少しずつ覚えましょう



例1) 朝、検温の場面

親 「体温計出してくれてありがとう」  
 子どもの検温が終わったら「体温計を引き出しに片づけて」と伝えます。  
 子どもができたなら「体温計、片付けしてくれてありがとう」と伝えます。  
 子どもができない時は「この引き出しに体温計は片付けるんだよ」と教えましょう。

例2) 洗濯物をたたむ場面【10月号(NO.10で紹介)】

親「ゆいちゃん、ゆいちゃんのタオルは、青いかごに入れてね」  
 「上手にタオル片付けたね」などと認め(ほめ)ます。  
 親「まきちゃん、まきちゃんの洋服はダンスに片付けるんだよ」「上手に洋服をダンスに片付けたね」

子どもができそうなことを教えていきましょう。

例の「おもちゃで遊ぶ」で考えてみましょう。



【片付けができるように準備しましょう。】

- ・ルールをつくりましょう…例) 遊んだおもちゃは片付ける。
- ・片付けができる量に調整してみましょう…例) 遊ばなくなったおもちゃは、子どもが見えないところに収納。
- ・子どもが一人で出して片付けやすくしましょう…例) 子どもの手が届く棚。子どもが引っ張れる引き出し。
- ・できる片付けを教えましょう…例) 大きなカゴに入れる。できるようにであれば、おもちゃの種類別やきょうだい別。

## ■子育て技術

### 夢中になれる活動を与える

(子育て手帳 P. 22 を参考にしてみましょう)

子どもに夢中になれる活動を与えることは、一人で遊べることやできることを増やせるでしょう。安全で、興味のあるやってみたい、探検したいことがたくさんある環境は、子どもの発達を刺激し、子どもを退屈させません。

いつでも楽しく片付けが練習できるように、子どもが喜びそうな遊びを考えておくと便利です。

#### 例) ~片付けを楽しく♪♪~

- ・歌を歌いながら片付けましょう。
- ・親が入れたおもちゃを子どもが運んでみましょう。  
(「ゆみちゃん、配達おねがいします」などと声を掛け)
- ・タイマーをセットして時間内に片付けてみましょう。



上手に片付けることができなくても、楽しく片付けすることができたら 認め(ほめ)ましょう。

例) 「じゅんちゃん、歌がじょうずだね」「じゅんちゃん、運ぶのが早いね」

などと楽しく取り組んでいることにも注目して、声掛けして片付けしてみましょう。

- ・片付けの時間を使ってゲームをするのもおすすめです。

親「電車は、どこに片付けるでしょう??」

子「あそこ」と棚の上を指差します。

親「正解!棚の上だね、よく分かっているね」

できたことを具体的にほめます。「電車を片付けるところをよく知っていたね」、「電車を棚にのせられたね」

徐々に手助けを減らして、一人でできるように励まします。



※「子育て手帳」は、市が開催する「おはなし会」に参加いただいた時にも配布しています。



今月の定期便についての感想や質問をお聞かせください。



市の「前向き子育て応援事業」の情報はコチラ

■お問い合わせ 子ども未来課 子育て支援係 ☎ 28-7568

(前向き子育て 担当 石橋)

科学研究費助成事業 (責任者 福岡県立大学 江上千代美)

無断複写・複製を禁ず